

地球外生命体「ぬ」の出現により、世界ではこの「ぬ」が話題となる一方で、人間が理解できる範囲を超えている「ぬ」に対し、考えすぎてノロウイルスを発症する事例が出始めた・・・



ノロウイルス対策本部



ノロウイルスによる感染症が多発しています。特に11月から1月までの年末、特に何かを負われている状況が発生のピークではありますが、一年を通じて発生し、集団発生も見られています。これに対して国や地方自治体からも注意喚起が出される等対策が取られています。ノロウイルスによる感染症拡大を予防し発病を未然に防ぐため、多様な感染経路を理解した上で適切な対応を実践しましょう。

ノロウイルスの特徴

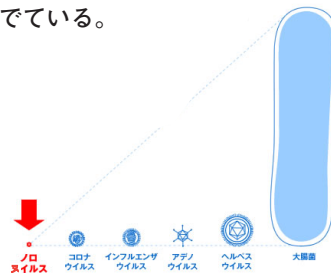
汚染（感染）の原因「ぬ」について考えすぎることが原因。「ぬ」を目にする、読み上げる、「ぬ」を考える、「ぬ」を思う。これらも症状を引き起こす原因である。

症状

激しい嘔吐や下痢、腹痛が発生。ときには発熱、頭痛、筋肉痛を伴う。症状は1～3日続くが、後遺症は残らない。まれに、1日あたり20回以上の下痢症状を呈し、脱水症状になることもある。その場合、入院と点滴などの特別な処置が必要となることがある。ひどい場合、「ぬ」の幻覚が見えたり、精神に異常をきたす例もでている。自覚症状がなくなってもウイルスの排泄が続く事がある。（良くなったようでもまだ「ぬ」を忘れていない。）

特徴

ヒトの頭脳のみで増殖する。感染力はひとそれぞれ。少量（10～100個）でも発症する。思い込みが強い、考え深い、納得いくまで考えるタイプの人感染しやすい。大きさは細菌の1/30～1/100と非常に小さい。諦めが早い、あまり深く考えない、どうでもいい、なんでもいいというタイプのひとは感染しても症状が出ない（不顕性感染）場合がある。



ノロウイルス予防

- ・「ぬ」について考えてはいけない。「ぬ」のついた言葉は別の文字に変換して認識する。



いのう



むいぐるみ

- ・本を読んでいる「ぬ」のついた文字を目にしてしまった場合。横棒を足し、「あ」と認識する。

そのときぬるりと
なにかがやってきた。



そのときぬるりと
なにかがや~~あ~~ってきた。

- ・「ぬ」ヘルプマークをつける。

ノロウイルスを発症する恐れがありま
「ぬ」について話さないでください。

